# LOCKMAN ロックマン 取付説明書

ロックマンは、当社の登録商標です

230817

CEP

## はじめに

この度は、ベーシックタイプキーレス【ロックマン】をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品は、専用リモコンで車両のロック・アンロックが行えるキーレスエントリーです。

## 注意事項

■本製品は12V 車用です。取り付ける前に車両の仕様をご確認下さい。
■取り付けを業者の方に依頼される場合も含め、いかなる場合も工賃はお支払いしません。
■本製品が原因で発生したお客様の損害は、当社では一切、賠償の責を負いません。同意できない場合は、取り付け前に規定に基づき返品して下さい。
■必ず取付説明書に従って配線して下さい。
■接続しない線は、必ず絶縁処理して下さい。
■取り付け作業が終わると、配線をまとめて、運転の妨げにならないような場所に格納して下さい。
■受信機はドアの中には設置しないようにしてください。水濡れや振動で故障の原因になります。

## 製品構成

**① 受信機**

**② ハザード接続モジュール**

ハザードアンサーバックするためのモジュールです。
1本側を CN1 の灰線、2本側を左右それぞれのウインカーに接続して下さい。

**③ CN1　10ピンハーネス**

メインハーネスです。

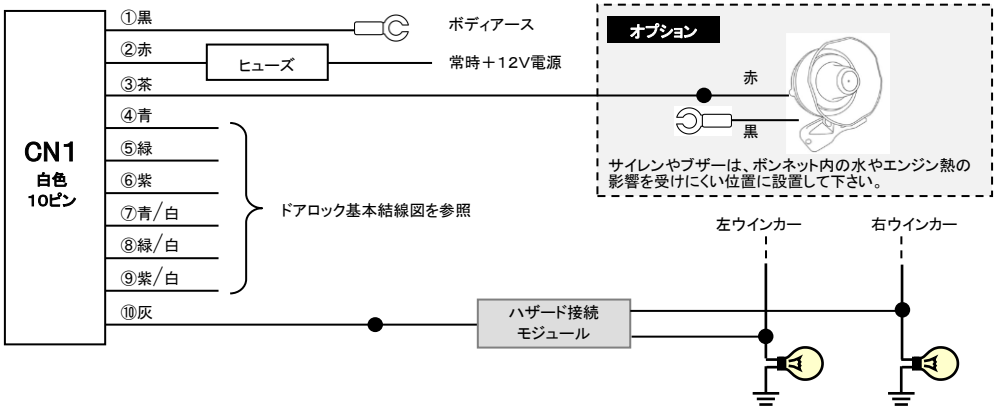
**④ CN4　2ピンハーネス**

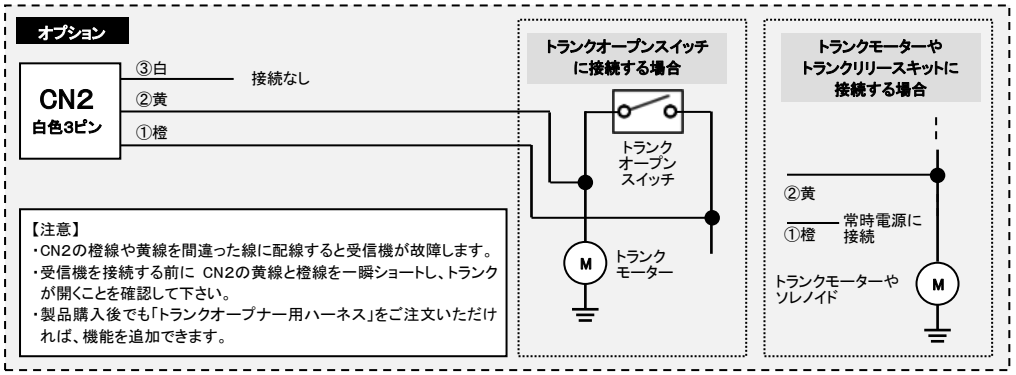
629L やボイスモジュールを接続するためのハーネスです。

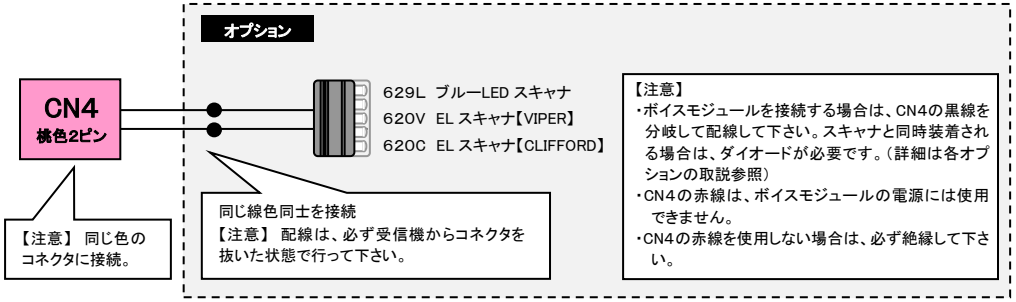
**⑤ リモコン　2個**

リモコンは選択していただいたタイプになります。

## 配線方法






**【重要】**
ドアロック基本結線図に基づき、配線終了後、必ず、ドアロック配線検査手順（ドアロック基本結線図の裏面）を実施して下さい。**検査を実施せずに受信機を接続すると受信機や車両が壊れる場合があります。**

# LOCKMAN ロックマン 取扱説明書

## 操作方法

| ボタン | マーク | アンサーバック | | 機　能 |
|---|---|---|---|---|
| | | ハザード | サウンド | |
| ロック | | 1 回 | 1回 | ロックします。 |
| アンロック | | 3回 | 2回 | アンロックします。 |
| カーサーチ | | 点滅 | ― | ハザードが30秒間**点滅**します。<br>いずれかのボタンを押すと消灯します。 |
| ウェルカム<br>（4chリモコン） | | 点灯 | ― | ハザードが30秒間**点灯**します。<br>いずれかのボタンを押すと消灯します。 |

※サウンドアンサーバックは、サイレンまたはブザーを接続した場合に有効です。

■　サイレント機能
カーサーチ中に、「ロック」・「アンロック」を押すと、サウンドアンサーバックをキャンセルします。

■　トランクオープン機能　（オプション）
「カーサーチ」を長押しすると、トランクをオープンすることができます。

## 主な有料オプション

**ドアロックモーター**
車両によって必要です。

**サイレン／ブザー**
サウンドアンサーバックします。

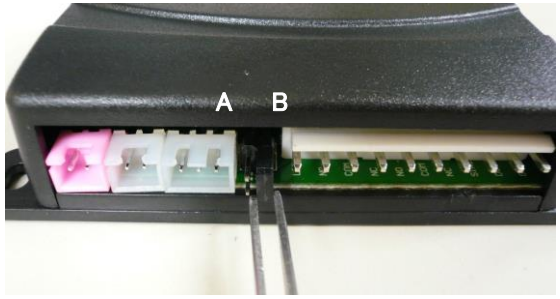
**516U ボイスモジュール**
ボイスアンサーバックします。

**各種 LED スキャナ**
ロック中に点滅し威嚇します。

**トランクオープナー用ハーネス**
リモコンでトランクオープンが可能になります。

**スペアリモコン**
1つの受信機に最大6個まで登録できます。
別タイプのリモコンの登録も可能です。

## リモコンセットアップ方法　（スペアリモコン購入時のみ）




【注意】
・セットに同梱しているリモコン2個は、すでに受信機にセットアップされています。追加リモコン購入時にこの作業を行って下さい。

・セットアップする際は、使用するすべてのリモコンのセットアップを行って下さい。追加リモコンのみセットアップすると元のリモコンが動作しなくなります。

（1）　CN1　10ピンコネクタを受信機に接続した状態で、A位置のジャンパーピン（黒い樹脂）を外し、
　　B位置に縦に挿します。このときハザードが1回点灯します。
（2）　リモコンのロックボタンを約0．5秒間1回押します。押すたびにハザードが1回点灯します。
（3）　（2）の操作をセットアップする全てのリモコンで行います。
（4）　すべてのリモコンのセットアップが終了すれば、B位置に挿さっているジャンパーピンをA位置に戻します。

## トラブルシューティング

■リモコンで動作しない場合は、以下の作業を行って下さい。
（1）　リモコンの電池を交換して下さい。
　　出荷時の電池はあくまでモニター電池ですので、本来の寿命より短い場合があります。感度が徐々に落ちてきた場合は、新しい電池に交換して下さい。リモコンの LED が光っている場合でも電池が弱くなっている可能性があります。弱くなってくると、リモコンのボタンを押し続けた際に LED がちらつくように光ります。
（2）　リモコンのセットアップを行って下さい。
　　セットアップ方法は、上に記載しています。
（3）　ドアロック配線検査手順を行って下さい。
　　必ず順序1番から5番まで、すべて確認して下さい。

■LED スキャナの点滅がおかしい場合は、LED スキャナを挿しているコネクタを確認して下さい。
　必ず同じ色のコネクタに挿して下さい。

CEP Electronic technology produced by Com Enterprise Inc.
https://cepinc.jp
有限会社コムエンタープライズ
〒671-1131 兵庫県姫路市大津区天神町2-78
【TEL】079-230-2323 【FAX】079-230-2221
【MAIL】info@cepinc.jp

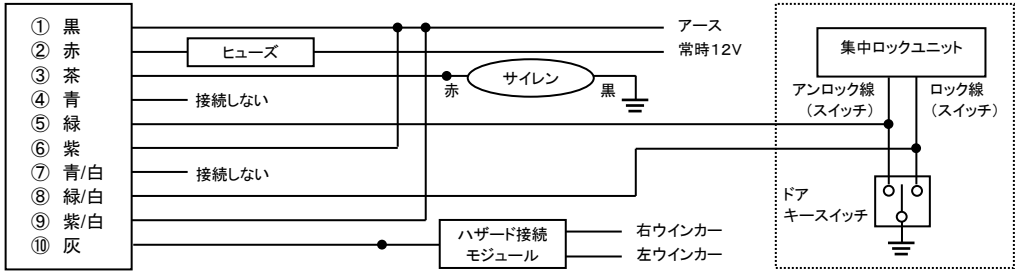
# ドアロック基本結線図

**（必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線して下さい。）**

車種別配線情報は、次のページを参考にして下さい。
https://cepinc.jp/chumon/torisetsu/torisetsu.html

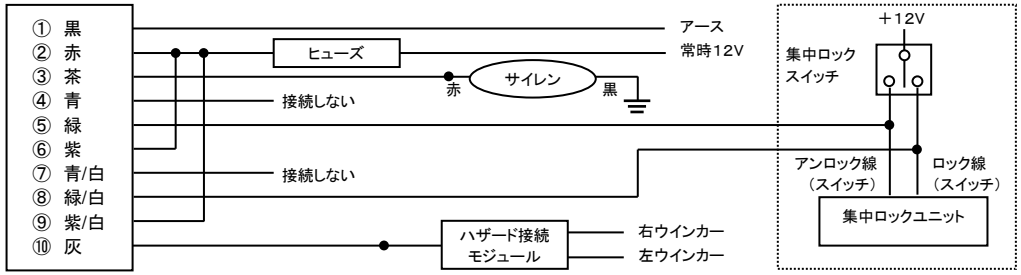
## A タイプ（ほとんどのトヨタ車や当社の集中ロックキットと組み合わせる場合）

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール（信号線をアースに接続するとロック・アンロック）の車種
（当社の集中ロックキットと組み合わせて取り付けをする場合は集中ロックキットの取説を参考に配線を行って下さい。）



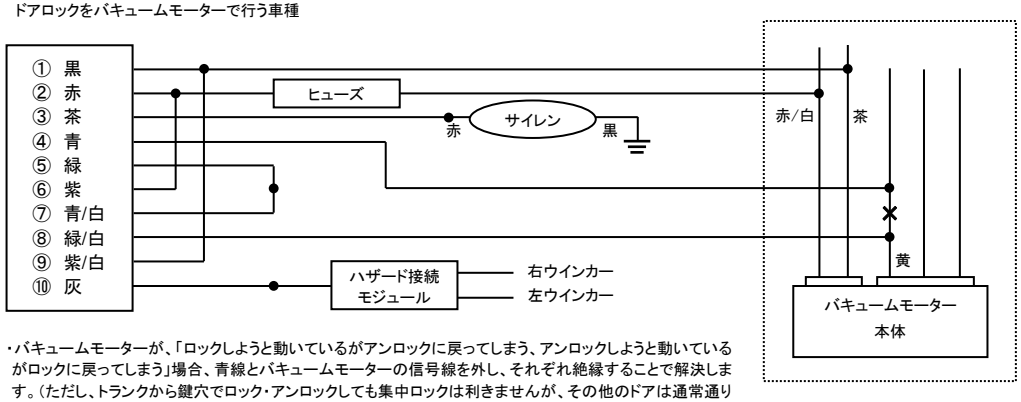

## D タイプ（例：BMW E32・E34・E36・E38・E39 等、GOLF3 やアメ車の一部）

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール（信号線を＋12Vに接続するとロック・アンロック）の車種




## ベンツタイプ（例：W124・W126・W201・R129・R107 後期等）

ドアロックをバキュームモーターで行う車種

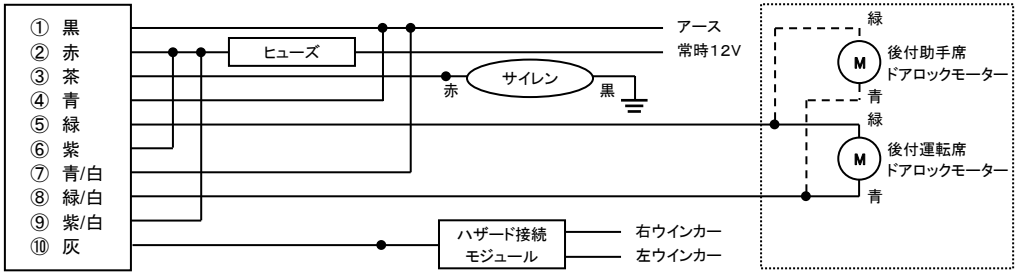



・バキュームモーターが、「ロックしようと動いているがアンロックに戻ってしまう、アンロックしようと動いているがロックに戻ってしまう」場合、青線とバキュームモーターの信号線を外し、それぞれ絶縁することで解決します。（ただし、トランクから鍵穴でロック・アンロックしても集中ロックは利きませんが、その他のドアは通常通り集中ロックになります。また、リモコンですべてのドアがロック・アンロックできますので、実運用上は問題ありません。）

## B タイプ（ドアロックモーターを後付けする車）

ドアロックモーターが付いていない車種

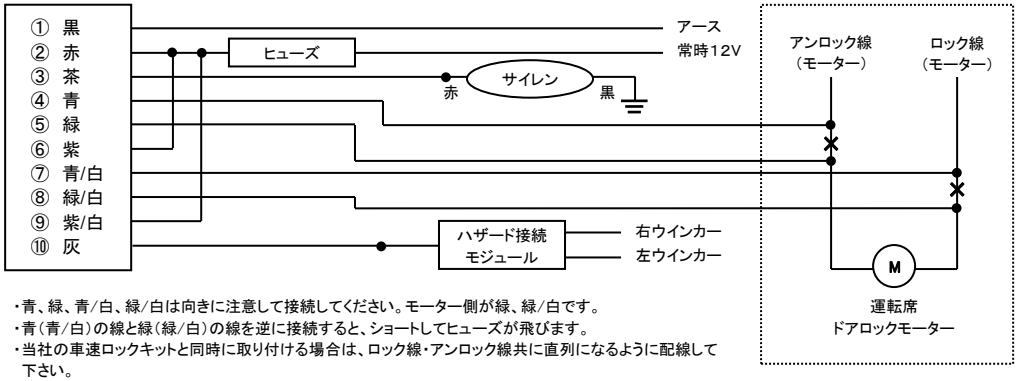
【注意】 当社の集中ロックキットと一緒に取り付ける場合は、集中ロックキットの取説を参考に配線を行って下さい。ロックマンの配線タイプはBタイプではなく、Aタイプになります。Bタイプで配線すると、受信機や集中ロックキットのコントローラが故障する場合があります。




・ドアロックモーターの取り付け方向によっては、緑と青の配線が逆になる場合があります。
・ドアロックモーターを2個以上使用する場合は、図のように並列に接続して下さい。

## C タイプ

全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種




・青、緑、青/白、緑/白は向きに注意して接続してください。モーター側が緑、緑/白です。
・青（青/白）の線と緑（緑/白）の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。
・当社の車速ロックキットと同時に取り付ける場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線して下さい。
【車速ロックキットを併設する場合のアンロック線の配線例】
① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。
② 本体の青線を車速ロックキットの緑線へ接続。
③ 車速ロックキットの青線を車両側のアンロック線に接続。

【常時電源について】
赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続して下さい。
（オーディオ裏は、容量が小さいので正常に動作しなかったり車両のヒューズが切れる可能性があります。）

【サイレン・ハザード出力について】
茶線や灰線を接続しない場合は、どこにも接続せずに必ず絶縁して下さい。

# ドアロック配線検査手順

・検査は必ず受信機からコネクタを抜いて行って下さい。
・必ず順序１番から5番まで、すべて確認して下さい。
・手順以外の差込は破損の原因になりますので、絶対にしないように注意して下さい。
**・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用して下さい。**

## Ａタイプ （検査ピン1本使用）

| 順序 | 検査方法 | 車両の動作 | 異常時の原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 緑／白と黒の穴に検査ピンを約１秒差し込む | ロック | 緑／白または黒線の結線不良 |
| 2 | 緑と黒の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | アンロック | 緑線の結線不良 |
| 3 | 緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | ロック | 紫／白線の結線不良 |
| 4 | 緑と紫の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | アンロック | 紫線の結線不良 |
| 5 | 灰と赤の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | 差し込んでいる間<br>両ウインカー**点灯** | ウインカー線または赤線の結線不良 |
| 6 | 本体を接続し、リモコンで動作させる。 | ロック・アンロック | 本体またはリモコンの初期不良等 **（注1参照）** |

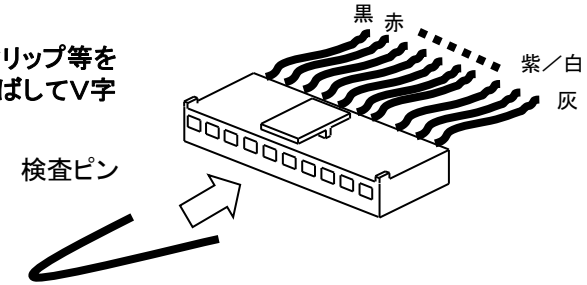
## Ｄタイプ （検査ピン1本使用）

| 順序 | 検査方法 | 車両の動作 | 異常時の原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 緑／白と赤の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | ロック | 緑／白または赤線の結線不良 |
| 2 | 緑と赤の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | アンロック | 緑線の結線不良 |
| 3 | 緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | ロック | 紫／白線の結線不良 |
| 4 | 緑と紫の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | アンロック | 紫線の結線不良 |
| 5 | 灰と赤の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | 差し込んでいる間<br>両ウインカー**点灯** | ウインカー線の結線不良 |
| 6 | 本体を接続し、リモコンで動作させる。 | ロック・アンロック | 黒線の結線不良<br>本体またはリモコンの初期不良等 **（注1参照）** |

## ベンツタイプ （検査ピン1本使用）

| 順序 | 検査方法 | 車両の動作 | 異常時の原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 緑／白と黒の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | ロック | 緑／白または黒線の結線不良 |
| 2 | 緑／白と赤の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | アンロック | 赤線の結線不良 |
| 3 | 緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | ロック | 紫／白線の結線不良 |
| 4 | 緑／白と紫の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | アンロック | 紫線の結線不良 |
| 5 | 灰と赤の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | 差し込んでいる間<br>両ウインカー**点灯** | ウインカー線の結線不良<br>左が点かない⇒黒／白の結線不良<br>右が点かない⇒黒／緑の結線不良 |
| 6 | 本体を接続し、リモコンで動作させる。 | ロック・アンロック | 青／白と緑線の結線不良<br>本体またはリモコンの初期不良等 **（注1参照）** |

**検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を１本または２本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作して下さい。**




## B･C タイプ （検査ピン2本使用）

| 順序 | 検査方法 | 車両の動作 | 異常時の原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 緑と黒の穴に検査ピンを１本差し込んだ状態で、<br>緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0．5秒差し込む。 | ロック | 緑、黒、緑／白または赤線の結線不良 |
| 2 | 緑／白と青／白の穴に検査ピンを１本差し込んだ状態で、<br>緑と赤の穴に別の検査ピンを約0．5秒差し込む。 | アンロック | 青／白または緑線の結線不良 |
| 3 | 緑と青の穴に検査ピンを１本差し込んだ状態で、<br>緑/白と紫/白の穴に別の検査ピンを約0．5秒差し込む。 | ロック | 青または紫／白線の結線不良 |
| 4 | 緑／白と青／白の穴に検査ピンを１本差し込んだ状態で、<br>緑と紫の穴に検査ピンを約0．5秒差し込む。 | アンロック | 紫線の結線不良 |
| 5 | 灰と赤の穴に検査ピンを約１秒差し込む。 | 差し込んでいる間<br>両ウインカー**点灯** | ウインカー線または赤線の結線不良 |
| 6 | 本体を接続し、リモコンで動作させる。 | ロック・アンロック | 本体またはリモコンの初期不良等 **（注1参照）** |

**・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないで下さい。**
**・ヒューズが飛ぶ場合は、青（青/白）線と緑（緑/白）線が逆に接続されている可能性があります。**

**（注1）** 配線検査で1から5番まで問題がないのに本体が反応しない場合は、取扱説明書に記載しているリモコンのセットアップを行って下さい。
それでも改善しない場合は、リモコンの LED が光っている場合でも電池が弱くなっている可能性があります。電池を交換して下さい。

※ 本体は、両面テープなどで固定してください。キックパネル内など、見えない場所でもかまいません。
（アンテナは感度に応じて伸ばしてください。）
※ 本体はドアの中には設置しないようにしてください。水濡れや振動で故障の原因になります。
※ 水がハーネスをつたって受信機に入らないようにハーネスを下向きになるように設置してください。

【感度について】
本体から出ている黒い線がアンテナです。感度が悪い場合、この線をまっすぐに伸ばしてください。また、本体を水平設置や垂直設置に変えると感度が良くなる場合があります。アンテナ線は、絶対にアースまたは電源に接続しないようにしてください。